

今月号の特集テーマは「肉芽腫症」です。治療に難渋する症例も多いと感じています。随分と前のことになりますが、東京通信病院皮膚科に勤務していた際、「瘢痕浸潤により診断されたサルコイドーシスの2例」と題した論文を通信医学（49：503-506, 1997）という雑誌に掲載していただいたことがあり、懐かしく思い出されました。本号では9編の肉芽腫症の症例報告が掲載されています。日常診療に是非お役立ていただければ幸いです。

話は変わりますが（私事で恐縮ですが）、2025年11月28日（金）～30日（日）の3日間、東京都新宿区の京王プラザホテルで第55回日本皮膚免疫アレルギー学会学術大会を主催いたします。皮膚免疫アレルギー学はとても奥行き深い学問分野と考えています。本学術大会の歴史を振り返っても、抗原研究会、皮膚脈管・膠原病研究会などを前身とし、日本皮膚アレルギー学会、日本皮膚アレルギー・日本接触皮膚炎学会などを経て、日本皮膚免疫アレルギー学会に至った経緯があり、扱う領域の幅広さを物語っています。また、アレルギー学は内科、小児科、耳鼻科、眼科、基礎医学などの他領域と重複するテーマも多く、学際的なアプローチが必要な領域でもあります。皮膚という臓器を通して、免疫アレルギー学を幅広く、奥深く学びたいとの願いを込めて、本学術大会のテーマを「皮膚から免疫アレルギーの深淵に迫る」といたしました。

特別講演ではカリフォルニア大学デービス校皮膚科教授のSam Hwang先生に、乾癬の病態についてご講演いただきます。招待講演1では東京大学医学部免疫学教授の高柳 広先生に、関節炎の病態と治療に関してご講演いただきます。招待講演2では東京慈恵会医科大学分子遺伝学教授の玉利真由美先生に、アレルギー疾患のゲノム解析に関してご講演をお願いしております。招待講演3では日本医科大学先端医学研究所細胞生物学教授の岩井佳子先生に、メラノーマを含めたがん免疫についてご講演いただきます。招待講演4では国立成育医療研究センターアレルギー研究室室長の森田英明先生に、免疫アレルギー疾患研究10か年戦略に関してご講演をお願いしております。皮膚免疫アレルギー学を楽しく幅広く学べる場を提供できればと願っております。

（佐伯秀久）

— 顧 問 —

大原 國章 大塚 藤男

— 編集委員 —

土田 哲也 五十嵐 敦之 相馬 良直 林 伸和 佐伯 秀久

「皮膚科の臨床」第67巻 第8号 7月号

2025年7月1日発行（毎月1回1日発行）

定価 3,300 円（本体 3,000 円＋税 10%）

年間購読料金

定価 50,160 円（本体 45,600 円＋税 10%）

〔年間13冊（臨時増刊号、増大号を含む）の誌代〕

〔年間予約購読者に限り送料無料〕

発行所 金原出版株式会社

発行者 福村 直樹

〒113-0034 東京都文京区湯島 2-31-14

TEL 03(3811) 7165〔編集室直通〕

TEL 03(3811) 7184〔営業部直通〕

FAX 03(3813) 0288

ホームページ www.kanehara-shuppan.co.jp

振替口座 00130-1-191269

印刷所 三報社印刷株式会社 TEL 03(3637)0005

広告申込先 (株)文京メディカル TEL 03(3817)8036

- ・本誌に掲載する著作物の複製権、翻訳・翻案権、上映権、譲渡権、公衆送信権（送信可能化権を含む）、貸与権、二次的著作物への利用に関する原著作者の権利は、金原出版株式会社が保有します。

・JCOPY＜出版者著作権管理機構 委託出版物＞

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構（TEL：03-5244-5088、FAX：03-5244-5089、E-mail：info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。